令和3年9月30日までの間における、基本報酬への1／1,000相当上乗せ単位数の算出方法について（全ての障害福祉サービス等共通）

給付費明細欄

サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数
身体日0.5	1 1 1 1 1 1	2 5 5	3	7 6 5
居介特地加算	1 1 6 0 1 5	1 1 5	1	1 1 5
居介喀痰吸引等支援体制加算	1 1 6 1 0 0	1 0 0	1	1 0 0
令和3年9月30日までの上乗せ分（居介）	**1 1 Z Z 0 1**	**1**	**1**	**1**
居介処遇改善加算Ⅰ	1 1 6 7 1 5	2 6 9	1	2 6 9

「令和3年9月30日までの上乗せ分」の算定対象となる基本報酬

令和3年4月1日から令和3年9月30日までのサービス提供実績に基づく報酬請求について、基本報酬に＋0．1％（1／1，000）相当の上乗せを行う。
（例示は介護給付費・訓練等給付費等明細書だが、全ての障害福祉サービス等に共通する内容である。）

請求額集計欄

サービス種類コード		1	1				
サービス利用日数			1	日			
給付単位数				1	2	5	0
単位数単価		1	0	0	0	円/単位	
総費用額			**1**	**2**	**5**	**0**	**0**
1割相当額				1	2	5	0
利用者負担額②				**1**	**2**	**5**	**0**
上限月額調整(①/②の内少ない額)				1	2	5	0
A型減免	事業者減免額						**0**
	減免後利用者負担額						**0**
調整後利用者負担額							**0**
上限額管理後利用者負担額				**1**	**2**	**5**	**0**
決定利用者負担額				**1**	**2**	**5**	**0**
請求額	給付費		**1**	**1**	**2**	**5**	**0**
自治体助成分請求額							**0**

■令和3年9月30日までの上乗せ分
サービス別に、基本報酬の合計単位数に0．1％を乗じた単位数を算定する。
（端数処理は四捨五入を原則とし、端数処理により0単位となる明細書については、1単位の上乗せを行う。）

＜記載例の場合＞
基本報酬の合計単位数（765単位）　×　0．1％　＝　0．765　　1（端数処理後）

※特定事業所加算、特別地域加算、同一建物減算、処遇改善加算、処遇改善特別加算、特定処遇改善加算の計算対象には、「令和3年9月30日までの上乗せ分」の報酬を含める。